年度	学年	教科	授業数／週
令和8年度	2年	保健体育	3

教科書
中学校　保健体育
補助教材
学研　中学体育実技

年間指導目標
・各種目の基礎、基本技能を身に付ける。 ・仲間と協力し、声を掛け合い、互いに高め合う集団を作る。 ・安全に留意し、ルールを守って活動する態度を養う。

観点	評価材料	評価基準
知識 ・ 技能	・筆記テスト ・技能テスト ・試合中の技能	・保健分野及び実技分野の筆記テストを学期末に行い、点数を算出する。 点数がおおむね8割以上であればA評価、3～7割でB評価、1～2割でC評価とする。 ・技能に関する評価は、各種目で技能テストを行う。その内容は各種目のオリエンテーション時に伝え、可能な限り、毎時間、その内容に取り組み、習熟度の変容が分かるようにする。また、評価にあたり、数値目標を設定すると共に、該当種目開始時と終了時の変容も評価に加える。 ・身に付けた個人技能を試合（ゲーム）の中で発揮できているかどうかも評価に加える。
思考 ・ 判断 ・ 表現	・学習カード ・課題に応じた個人・集団での活動	・各種目で学習カードを配布し、毎時間、記入をする。記載内容の表現方法、文章量などで3段階で評価をする。 ・自らの課題解決に向けて、適切な学習方法を選択し、活動できたかどうかで3段階で評価をする。
主体的に学習に取り組む態度	・まとめプリント ・授業での取り組み	・各種目の終了時に、まとめのレポートを記入し、自己の技能の習熟度や課題解決に向けた取り組みなどについて創意工夫し記入されているかどうかで3段階で評価をする。 ・各種目の基礎、基本技能の習得及び学習課題の解決に向けて、主体的に学習に取り組むことができているか3段階で評価する。

注意事項	体育の授業では、集団でグラウンドや体育館などで体を動かすため、安全に留意して活動すること。また、周囲の様子をよく見て、行動すること。用具の使用の際は、”学校の物”という認識のもとで大切に取り扱うこと。
アドバイス	運動が苦手、得意で評価をつけるわけではありません。自分なりにどう成長したかが評価のポイントになってきます。前向きに取り組んでいきましょう。